

## パクリタキセル療法

患者番号： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_ 性別： \_\_\_\_\_  
生年月日： \_\_\_\_\_ 年齢： \_\_\_\_\_

部位； ( 乳腺 胃 )  
薬液注入ルート； ( 末梢点滴静注 CVライン ポート )  
開始年月日； \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
投与間隔； 28日間隔で1サイクル  
体格； 身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ kg 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>  
使用薬剤；  
① パクリタキセル \_\_\_\_\_ mg ( 80 mg/m<sup>2</sup> ) 3週投与1週休薬

**制吐薬** グラニセトロンゼリー+デキサート注 6.6mg

### 前処置

- ① デキサート注射液
- ② ファモチジン注射用 20mg
- ③ レスタミン錠 (内服)
- ④ グラニセトロンゼリー (内服)

【処方が必要な内服薬】

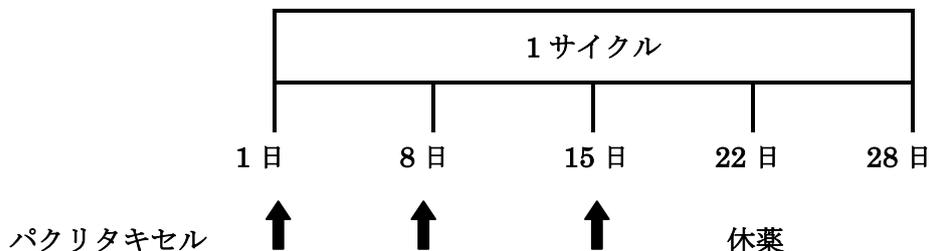
パクリタキセルアレルギー予防のデキサメタゾン  
は、症状がなければ半量ずつ減量が可能です。  
(最低量 1.65 mg 1A)

※内服不能の場合は

- ③ポララミン注 10mg+生食 20mL
- ④グラニセトロン点滴静注用 3mg

グラニセトロンゼリー2 mg 1包 パクリタキセルの30分前  
レスタミン錠 (10) 5錠 パクリタキセルの30分前

骨髄抑制、アレルギー、消化器症状、肝機能障害に注意  
38℃以上の発熱時には投与を延期したほうがよい



HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介

HBs 抗原(-) →  HBs 抗体(-) and HBc 抗体(-)

HBs 抗体(+), and/or HBc 抗体(+)

HBV-DNA 定量(-) → 3ヵ月毎 定量

HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン \_\_\_\_\_